

✓ 外国為替市場

通貨		3月27日	前回基準日	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載				
主要国	米国・ドル	119.13	120.04	-0.76%
	ユーロ	129.73	129.90	-0.13%
	英国・ポンド	177.37	179.44	-1.16%
	カナダ・ドル	94.47	95.63	-1.20%
	オーストラリア・ドル	92.35	93.34	-1.06%
	ニュージーランド・ドル	90.16	90.83	-0.73%
新興国	ブラジル・レアル	36.675	37.152	-1.28%
	メキシコ・ペソ	7.818	7.973	-1.94%
	トルコ・リラ	45.624	46.628	-2.15%
	南アフリカ・ランド	9.892	9.988	-0.96%
	インドネシア・ルピア※	0.912	0.915	-0.33%
	中国・人民元	19.165	19.350	-0.96%

※100外貨あたりの対円レートを表示

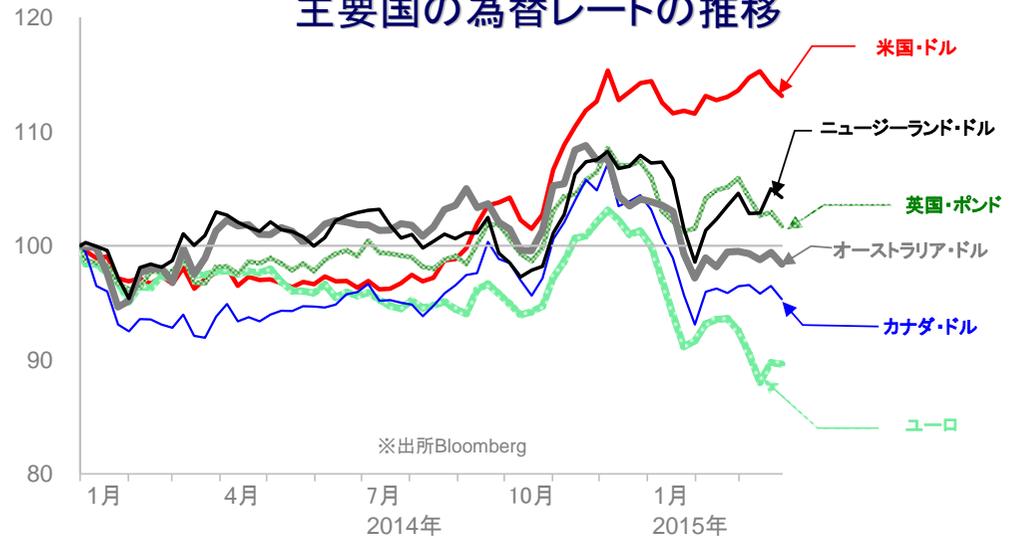
📎 マーケットの動き

米国では、10～12月期の実質GDP成長率(確定値)が市場予想を下回った。消費者物価指数は前月から上昇し、耐久財受注は市場予想に反して前月から減少した。FRB副議長は年末までに利上げが行われ、その後は利上げペースは緩やかとの見方を示した。ユーロ圏では総合PMIが市場予想を上回る上昇となった。ドイツでは、Ifo企業景況感指数が5カ月連続の改善となった。中国では製造業PMI(民間調査)が景況判断の節目となる50を下回った。中東では、政情が悪化するイエメンに対してサウジアラビアが軍事介入を行った。

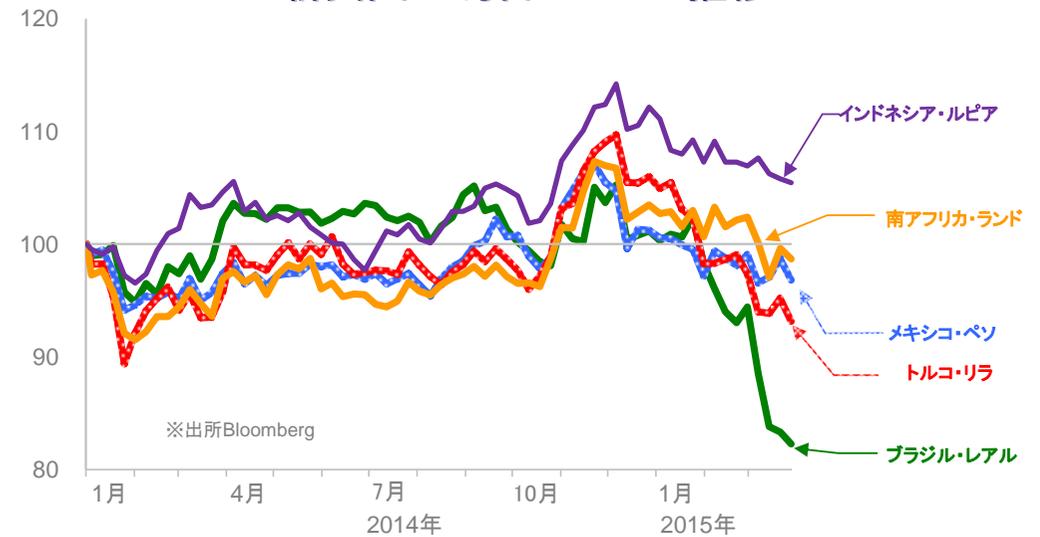
主要国および新興国通貨は、中東情勢に対する警戒感から日本・円に対して下落し、早期の利上げ観測が後退している米国・ドルに対しても概ね小さい

- 米国・ドルに対して、ユーロは景況感が改善したことから上昇した一方、英国・ポンドは消費者物価指数が現行統計で初となる0%となったことを受けて軟調に推移
- ブラジル・レアルは、経常収支が改善し、10～12月期の実質GDP成長率が市場予想を上回ったものの、週末に下落
- メキシコ・ペソは、政策金利据え置きに際して中央銀行が景気の弱さを指摘したことから下落
- トルコ・リラは、鉱工業信頼感指数が前月から低下したことから下落

主要国の為替レートの推移



新興国の為替レートの推移



※各為替レートの2013年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

ウィークリー・マーケット・レポート

2015年3月30日

株式市場

国	株価指数	2013年末比	
		騰落率(※)	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日との比較を記載			
日本	日経平均株価	-1.40%	18.38%
	東証株価指数(TOPIX)	-1.75%	19.23%
	JASDAQ INDEX	-0.46%	6.75%
米国	ダウ工業株30種平均	-2.29%	6.85%
	S&P500	-2.23%	11.51%
北米	ナスダック指数	-2.69%	17.11%
	カナダ S&Pトロント総合指数	-0.87%	8.74%
主要国	英国 FTSE100	-2.39%	1.57%
	ドイツ DAX	-1.42%	24.25%
	フランス CAC40	-1.05%	17.18%
	イタリア FTSE MIB	-0.83%	21.18%
	オーストラリア S&P/ASX200指数	-0.93%	10.61%
	中国 上海総合指数	2.04%	74.44%
	韓国 韓国総合株価指数	-0.86%	0.42%
新興国	香港 ハンセン指数	0.46%	5.06%
	台湾 台湾加権指数	-2.52%	10.36%
	インド S&P BSE SENSEX	-2.84%	29.70%
	ロシア RTS指数(ドル建て)	-0.66%	-40.64%
	トルコ ISEナショナル100指数	-1.95%	19.31%
	ブラジル ボベスバ指数	-3.60%	-2.74%
	他 メキシコ ボルサ指数(IPC)	-0.75%	2.13%
南アフリカ FTSE/JSE 全株指数	-1.56%	12.01%	

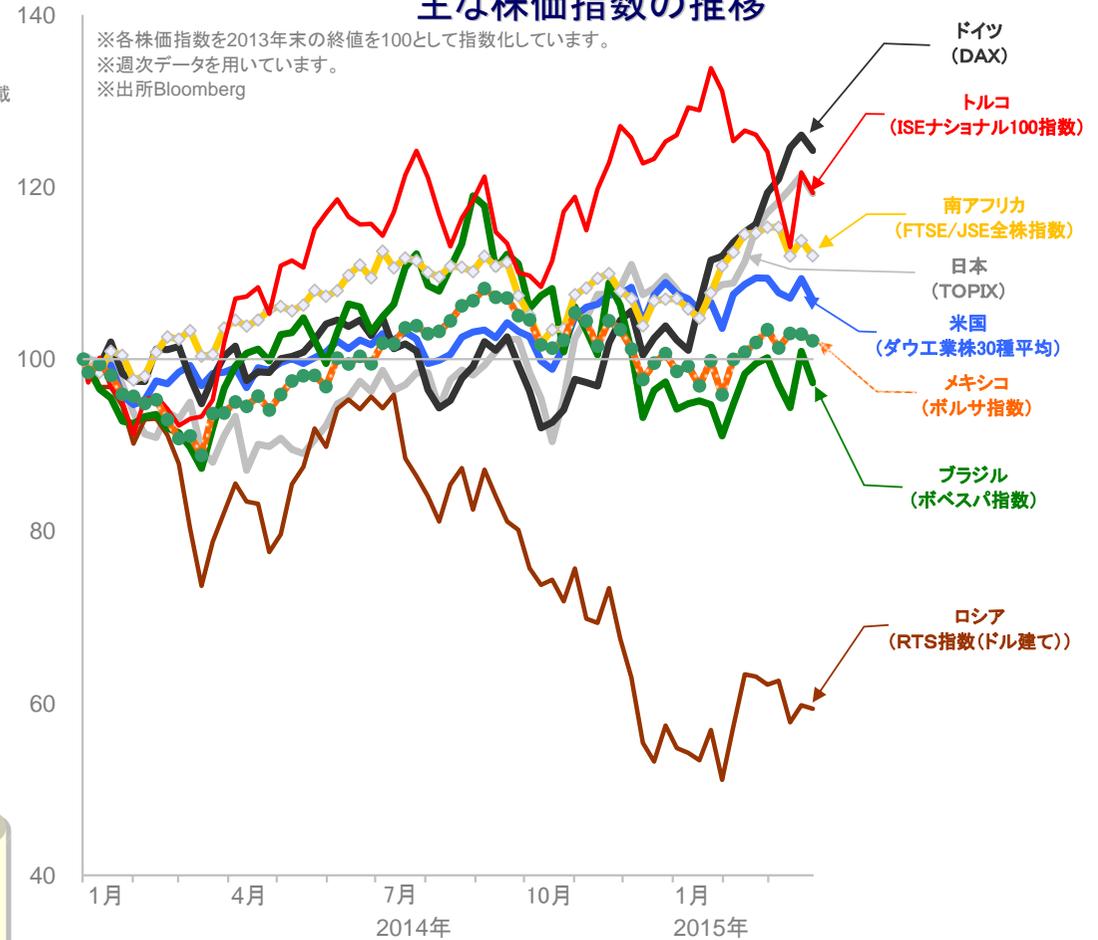
※騰落率は前回基準日と今回基準日の各株価指数を比較しています。

マーケットの動き

世界の株式相場は、米国で耐久財受注が市場予想を下回り景気に対する不透明感がやや広がったこと、欧州ではユーロ圏総合PMIが改善したものの、これまで支援材料だったユーロ安が一服していることに加えて、中東情勢に対する警戒感が重しになり、概ね下落

- 中国では、景気支援策に対する期待を受けて上昇
- ブラジルでは、失業率が市場予想を上回ったことなどから下落

主な株価指数の推移



日経平均株価、東証株価指数、JASDAQ INDEX、ダウ工業株30種平均、S&P500及びS&Pトロント総合指数及びS&P/ASX200指数、ナスダック指数、FTSE100及びFTSE MIB及びFTSE/JSE 全株指数、DAX、CAC40、上海総合指数、韓国総合株価指数、ハンセン指数、台湾加権指数、S&P BSE SENSEX、RTS指数、ISEナショナル100指数、ボベスバ指数、ボルサ指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ、日本経済新聞社、株式会社東京証券取引所、株式会社大阪証券取引所、S&P Dow Jones Indices LLC、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエルエルシー、The NASDAQ OMX Group, Inc.、FTSE社、ドイツ証券取引所、ユーロネクスト、上海証券取引所、韓国取引所、Hang Seng Indexes Company Limited、台湾証券取引所、ボンベイ証券取引所、ロシア取引システム、イスタンブール証券取引所、サンパウロ証券取引所、メキシコ取引所に帰属します。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

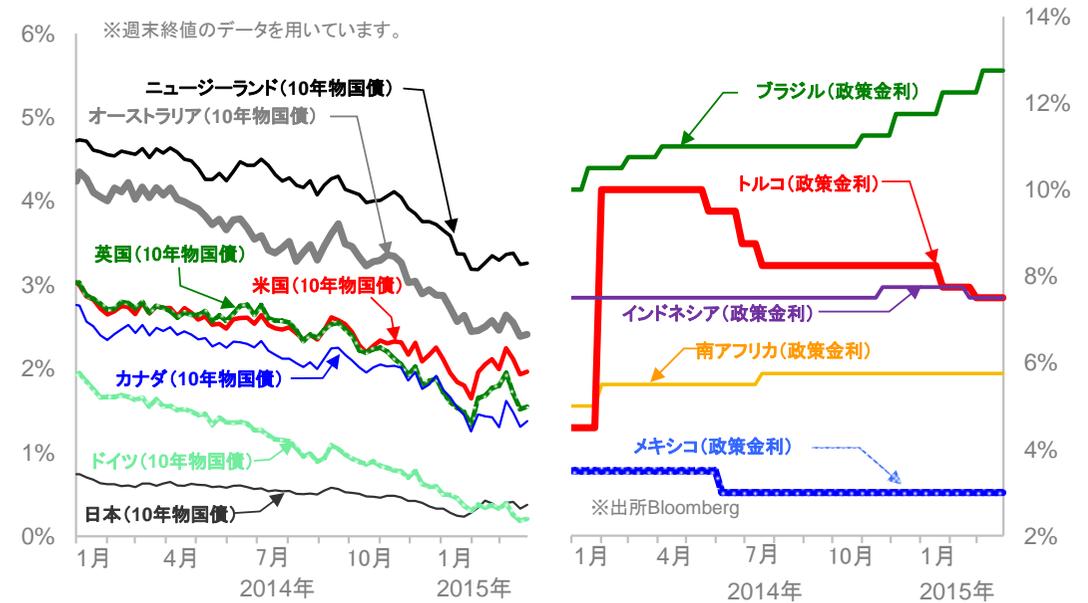
ウィークリー・マーケット・レポート

2015年3月30日

金利

国	3月27日	前回基準日	差
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
主要国			
日本	0.375%	0.329%	+0.046%
米国	1.962%	1.931%	+0.031%
ドイツ	0.207%	0.184%	+0.023%
英国	1.542%	1.516%	+0.026%
カナダ	1.373%	1.305%	+0.068%
オーストラリア	2.407%	2.384%	+0.023%
ニュージーランド	3.258%	3.242%	+0.016%
新興国			
ブラジル	12.75%	12.75%	±0.00%
メキシコ	3.00%	3.00%	±0.00%
トルコ	7.50%	7.50%	±0.00%
南アフリカ	5.75%	5.75%	±0.00%
インドネシア	7.50%	7.50%	±0.00%

主要国および新興国の金利の推移



REIT、商品市況

	3月27日	前回基準日	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
○ REIT			
東証REIT指数	1893.72	1850.06	+2.36%
S&P先進国REIT指数(ドルベース)	263.19	268.77	-2.08%
○ 商品			
WTI原油先物価格(期近物)	48.87	46.57	+4.94%
トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数	215.16	214.11	+0.49%
ニューヨーク金先物(6月限月)	1200.70	1185.40	+1.29%

※ 東証REIT指数、S&P先進国REIT指数、WTI、トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ株式会社東京証券取引所、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エルシー、ニューヨーク商業取引所、Thomson Reuters、Jefferies Financial Products,LLCに帰属します。

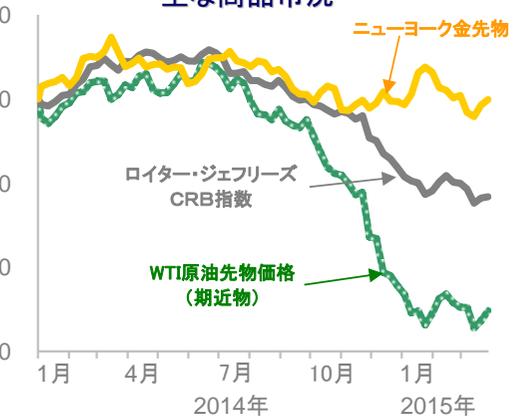
マーケットの動き

- 主要国の金利は、米国では早期の利上げ観測が後退したものの、国債入札が不調だったこともあり低下傾向が一服
- カナダでは、追加利下げ観測が後退する中、金利は上昇
 - メキシコと南アフリカでは政策金利の据え置きを決定
 - 原油価格は米国における生産減速を受けて上昇した後、イエメン情勢を巡り値動きの荒い展開

REIT指数の推移



主な商品市況



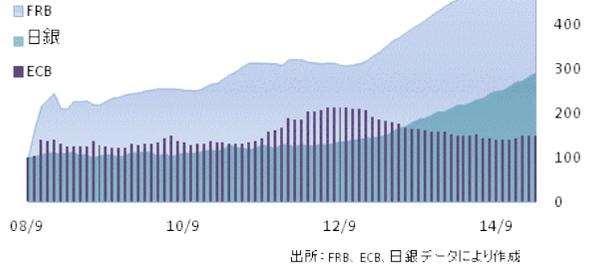
※各指数は、2013年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。※出所Bloomberg

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

○ 米国の量的緩和終了と資本の動き

図表1 中央銀行の資産

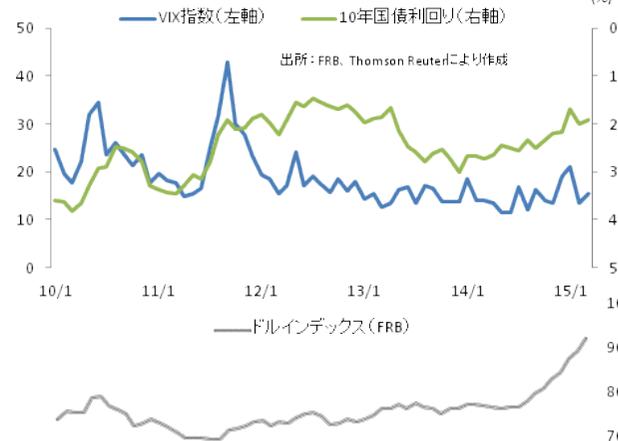
2008年9月を100として指数化した、金融的量的緩和を象徴する中銀資産の膨張



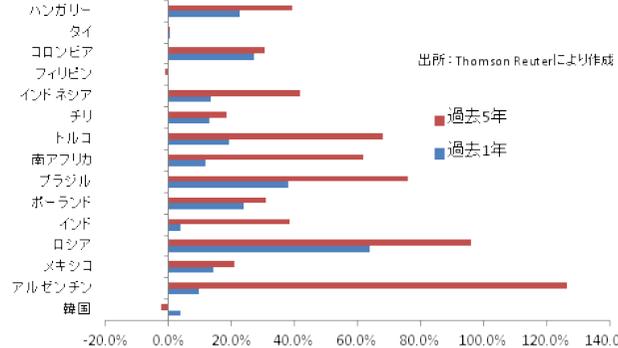
図表4 FFLレートの予測 (%)



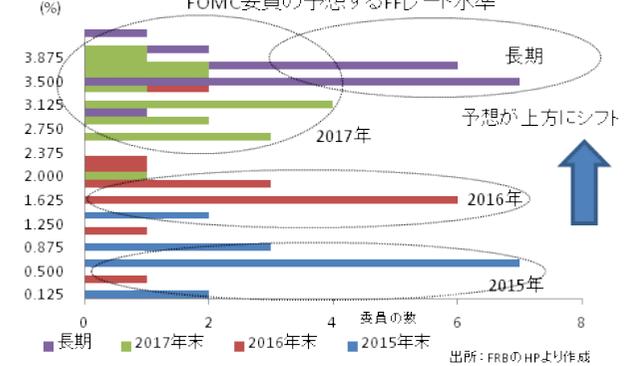
図表2 (ドル) 量的緩和の終了と為替、株価、金利



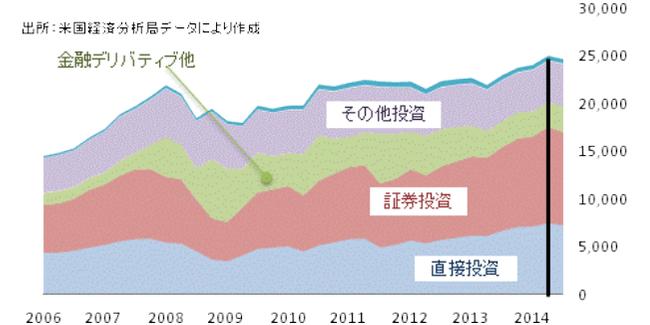
図表5 米ドルの新興国通貨に対する上昇率



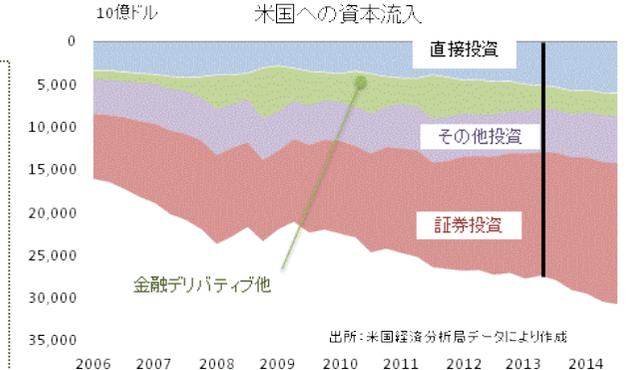
図表3 FOMC委員の予想するFFレート水準 (%)



図表6 米国からの海外投資 (10億ドル)



図表7 米国への資本流入 (10億ドル)



昨年10月をもってQE3は終了し、米国利上げ開始時期への様々な思惑、緩和マネー収縮に備えた資本の動きが交錯し、市場に変動をもたらしている。ただ、市場参加者の心理を表す代表的な指数であるVIX指数は時折上昇するものの、そのピーク時の水準は2010～2012年よりも低位にある(図表2)。これはFRBのフォワード・ガイダンス、FOMC委員らによる実体経済観測および金融政策の方向性の説明などが抑制効果をもたらしていると思われる。また、将来の各年末時点でのFOMC委員の予想値が公表されているが、FFレートの先物取引と比較するとズレがみられる(図表3、4)。市場が考える利上げペースは遅く、2018年初めの段階でも2.0%程度にとどまると示唆している(図表4)。一方FOMC委員の多くは2017年末には2%台後半～3%超に達するとの見通しとなっている(図表3)。市場の織り込み不足ならば、近い将来、米国国債利回りに調整圧力が加わることが考えられる。しかし前述の抑制効果の一方で量的緩和終了後のドル・インデックスの上昇、国債利回りの低下幅は拡大している(図表2)。この背景には緩和マネー収縮に備えた米国から海外への証券投資の手控えや米国への着実な資金回帰の流れがあるとみられる(図表5.6)。これは新興国通貨の対ドルでの下落率拡大に端的に現われている。量的緩和終了を受けた米国への証券投資資本還流の様子が顕著となっている(同)。もう一方の資本である実物投資の米国への流入についても直接投資、その他投資とも増加基調にある(図表7)。これは、「シェール革命」に代表されるエネルギー開発投資への資本の流入増をも反映していると思われる(同)。今後は昨年後半以降のエネルギー価格の急落を受けた後の趨勢が変化するか注目される。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。